

東海北陸

Branch Report Vol.60

TOUKAI-HOKURIKU

2014. February

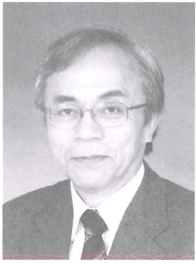


大垣城



公益社団法人
日本建築積算協会・東海北陸支部

支部長あいさつ	工学的合理性と建築	支部長 小野 徹郎	1
平成 26 年度支部定時総会及び懇親会開催のお知らせ			2
平成 26 年度 新年互礼会	総務財務委員会 委員長	川辺 清次	3
資格制度委員会報告	資格制度委員会 委員長	林 進	4
再び財政危機対策とは？	総務財務委員会 委員長	川辺 清次	5
会員委員会報告	会員委員会 副委員長	生田 孝文	5
データベース委員会だより	データベース委員会 委員長	加藤 一也	6
設計審査委員会だより	設計審査委員会 副委員長	西部 明宏	6
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会 委員長	劔谷 将紀	7
資格者の発信力が問われている	ペリカン推進委員会 委員長	中川 英人	7
教育委員会だより	工業高校における積算教育	愛知県立碧南工業高等学校 桑田 隆行	8
講習委員会だより	講習委員会 副委員長	山田 治	9・10
北陸部会だより	北陸部会	高島 義昭	10
地域委員会 静岡地区だより	(株)アイピーエス 藤曲 充信		11
東京から その1・東京から その2	支部会員	西田 彰	12
インターンシップを終えて	富山県立富山工業高等学校 建築工学科	中島 晃一	13
	富山県立富山工業高等学校 建築工学科	中龍 琴乃	13
平成25年度 現場見学会(石川地域主催)報告記	大嶋建築企画設計研究所 代表	大嶋 寛則	14~19
B-1 グランプリ in TOYOKAWA	神野建設株式会社 建築事業部	山本 喜久	20
養老改元 1298 年	広報委員会 委員	桑名 利男	21
平成 25 年末会員交流会	広報委員会		22
平成 26 年度 3 月末 CPD 単位登録について			23
2014 年 謹賀新年 積算事務所からの御挨拶			24~26
株式会社 大成出版社			27
TOMO データサービス株式会社			28
編集後記			29
協栄産業株式会社			30



工学的合理性と建築

(公社)日本建築積算協会
東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

椋山女学園大学教授
名古屋工業大学名誉教授
工学博士

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様は、厳しい環境の中でもそれぞれのお仕事に頑張っておられることと思います。今年も宜しく願いいたします。

日本建築積算協会は公益社団法人としての新しい船出をして1年が経過しました。公益社団法人には、専門家集団として社会貢献が強く求められ、会員各位はそうしたプライドと意識を持って活動する必要があります。来年度は協会の国際的活動の一つとしてPAQSの国際会議と、積算協会の40周年記念大会が5月29日から横浜で開催されます。会員の皆様には積極的に参加されるようお願いいたします。

建築を表す言葉に『唯一の工学的芸術である建築』という言葉があります。私はこの言葉に大学2年生の時出会い、工学部で建築を学ぶことの意義と喜びを強く感じました。「工学的芸術」とはいい響きではありませんか。建築は単なる美術品ではありません。当然、建築も美しくなければなりません。建築は人間が安全、安心、快適な生活ができるものでなければなりません。我々の命と財産を守るシェルターとしての強さ、人間工学を基本とした機能と使いやすさが求められます。目指すべき建築物を作るために各専門分野で工学的合理性を追求していくことが重要です。工学的合理性の集積として建築の真の美しさが獲得出来るはずです。

ウッソン設計のシドニーオペラハウスをご存知だと思います。シドニー湾に浮かぶ美しい姿が印象的です。当初コンペ入選原案に比べるとその形状は大きく変化しています。当時の建築技術の中で原案をそのまま実現することは出来ず、多くの構造的、施工的試行錯誤を通して、その時代の技術を駆使し、工学的合理性を追求

した結果が今の姿です。原案と異なってその姿は十分美しく、近代建築としていち早く世界遺産に登録されました。この事実から私は先の言葉を更に進め、『工学的合理性の中にこそ普遍的な美しさが存在する』とさえ考えています。

積算という仕事も安全で機能的で美しい建築を実現する上では欠かせない行為です。積算はその活動の一部分を担っているにすぎないかもしれませんが。しかし建築が経済活動の上に成り立っていると考えれば最も重要な仕事です。積算は工学的合理性だけではなく経済学的な合理性も加味されより複雑です。積算の仕事に携わる者にはそうした認識とそれにふさわしい努力が必要です。

さて私どもの積算協会東海北陸支部報も節目の60号を数えることとなります。1981年以来、支部報には東海北陸支部の歴史が刻まれています。時々の社会の状況と経済状況に左右されてきた建築界の状況を見ることが出来ます。その歴史を踏まえて今の時代に即した活動を行う必要性を痛感しています。以下、本年度の活動の方向を要約します。第一は会員増強活動です。本部も会員増強を大きな柱に掲げて会費の値下げをしました。支部として今年度は賛助会員の増強の活動を行っています。会員増強は会の社会的価値を相対的に上げることにもつながりますのでご協力をお願いいたします。第二は学校教育での積算教育の具体的展開と支援です。東海北陸支部では、現在、大学、工業高校、専門学校まで含めて8校で協会のプログラムに則した積算教育がなされ、若年層への積算の認知度向上に寄与しています。第三は情報処理の会員サービスです。各種講習会、継続教育情報処理の技術が必要ですが、支部とし会員への支援をしています。

積算は単なる数量拾いではありません。建築の本質的な価値を、論理的な体系の中で公正且つ適正に評価し、適正なコストに変換していくことが積算業界に課せられた使命です。建築業界が幾分活況を呈する中で会員各位が益々活躍されることを祈念しています。

平成 26 年 1 月吉日

(公社) 日本建築積算協会
東海北陸支部正会員 各位

(公社) 日本建築積算協会東海北陸支部
支部長 小野 徹郎

平成 26 年度支部定時総会及び懇親会開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記定時総会並びに懇親会を下記の通り開催予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。

お忙しいとは存じますが、出来るだけ多くの会員皆様方にご出席頂きたく早々にご案内申し上げる次第です。

謹白

記

《定時総会》

1. 日 時：平成 26 年 4 月 25 日(金) 17 時より
2. 場 所：中日パレス
名古屋市中区栄四丁目 1 番 1 号 中日ビル 5 階
TEL (052) 261-8851
地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12 番出口すぐ
3. 議案
第 1 号議案 平成 25 年度事業報告承認の件
第 2 号議案 平成 25 年度収支決算及び監査報告承認の件
第 3 号議案 平成 26 年度支部役員補選案に関する件
4. 報告事項
1. 平成 26 年度事業計画の件
2. 平成 26 年度収支予算の件

《懇親会》

1. 日 時：平成 26 年 4 月 25 日(金) 18 時より
2. ところ：中日パレス
名古屋市中区栄四丁目 1 番 1 号 中日ビル 5 階
TEL (052) 261-8851
地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12 番出口すぐ
3. 会 費 6,000 円

平成 26 年度 新年互礼会

総務財務委員会
委員長 川辺 清次

今年も1月10日(金)建築8団体主催の新年互礼会が名古屋国際ホテルで開催された。総参加者260名程、積算協会から17名の参加であった。



主催団体

今年は(公社)日本建築家協会東海支部愛知地域会が当番幹事である。主催団体代表挨拶では地域会長の鈴木利明氏より『最近の建築業界は資材、労務費の高騰で景気が良いのか、悪いのか 大変な時期である。』と又、来賓挨拶で大村愛知県知事が『その影響もあって発注工事が不調で事業が予定通り進まないのが担当者が苦慮しているが、これも景気が良くなるのであればいた仕方がない』との事。我々当事者もこの先どうなるのか分らないのが実情である。



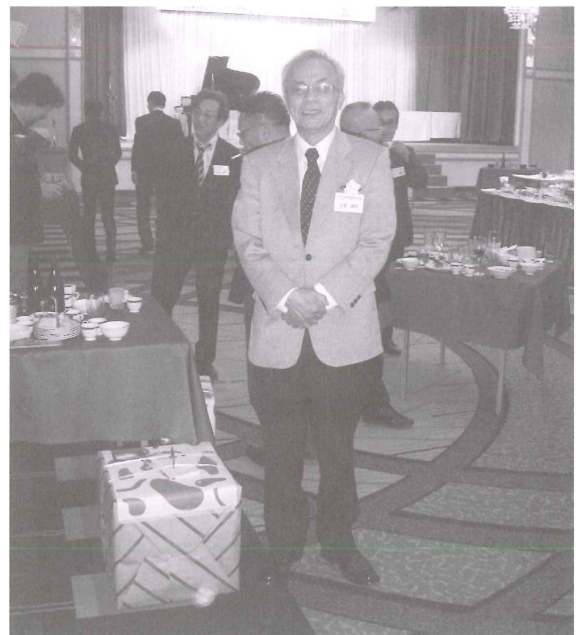
会場の様子

そして宴に入り、アトラクションのヴァイオリンがとても新鮮で良かった。



アトラクション

終宴が近づいた頃、待望の抽選会があり、積算協会が幹事の時から我が協会の人が多くなり、今回も賞品は15人分で率としては5~6%である。昨年も2~3名賛助会員も含めて当選された。その“ツキ”は今年も続いていて、4等のバカラのグラスがペアで時価2万円相当が硯谷氏が当り、1等の3万円相当のフライヤーが小野支部長に当たって大騒ぎである。



抽選会

今年も積算協会は新年早々『縁起がいい』この『ツキ』が積算協会にもあり、継続する事を願うばかりだ。寒波が続く寒い夜であったが『楽しい一夜』であった。

資格制度委員会報告

資格制度委員会
委員長 林 進

新年あけましておめでとうございます。平成25年度の建築積算士一次試験・コスト管理士試験・積算士更新講習が実施されました。

建築積算士一次試験

名古屋会場 10月27日 昭和ビル
受験者 24名 合格者 22名
富山会場 10月27日 富山県民会館
受験者 2名 合格者 2名

コスト管理士試験

名古屋会場 10月27日 昭和ビル
受験者 5名 合格者 2名
富山会場 10月27日 富山県民会館
受験者 2名 合格者 2名

平成26年度からは、eラーニングでは自宅にパソコンがない方も予想されCD化してテレビ視聴をしていただく案を検討しております。

一次試験の合格率は名古屋92% 富山100%
合計92%となっております。

建築積算士二次試験 実施予定

名古屋会場 1月26日 昭和ビル
二次申込み 27名
一次合格者 22名 合計 49名
富山会場 1月26日 富山県総合情報センター
二次申込み 9名
一次合格者 2名 合計 11名

建築積算士更新講習

名古屋会場 11月16日 中統奨学館ビル
受講者 67名
金沢会場 11月9日
受講者 14名

eラーニング受講者 87名 前回49名

建築積算士更新講習の名古屋会場では、急な会場変更でご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

金沢会場



名古屋会場



人材バンクの設立

会員および資格者が活躍する場を広げ、建築コスト技術者の技術・知識の向上をはかるとし「人材バンク」が設立されました。

新しい人材の参画を進め、会員・資格者のやりがい・生きがいを高めることを目的としております。

支部の講習会・研修会などの講師、認定校における派遣講師などを募ります。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.bsij.or.jp/education/jinzai/index.html>

再び財政危機対策とは？

総務財務委員会

委員長 川辺 清次

昨年10月8日、平成25年度総務財務委員会(第1回)に出席して来ました。その時来年度から支部交付金が50万円程減額されるとの事。又、10月17日に本部より建築積算士更新者が多い平成26年度・27年度は収支のバランスがとれるものの、更新者が極端に少ないため平成28年度は約3500万円の赤字になる。そこで収入を「800万円増やし」支出を「500万円削減」する。これを達成すれば各年度収支が1300万円改善され、3年間でマイナス3500万円をプラス400万円に改善される。所謂「チャレンジ8・5」の本部からの提案である。又、支出は、支部のご意見を伺いながら本部で詳細な削減検討を行う。収入は、支部の活動を具体的に策定し、支部単位の数値目標の設定と達成への具体的な行動を計画すると、本部より10月17日付けで支部長 総務財務委員宛に来ています。これによると『チャレンジ8・5』は収入も支出も支部次第的であり、支出は本部で詳細な削減計画を行うとは、その結果が交付金の減額なのか？

公益法人になって1年余でもう財政危機とは？公益法人を目指して会費の半額(更新料も含む)の実施と建築積算士、コスト管理士のガイドブックの作製とバラマキ、大量破棄は一体何であったのだろうか？

我が協会も来年40周年を迎えるに当たり、もう一度原点に戻り素直に、公益法人だからと言って浮れる事なく謙虚に対応するべきだ。元々ボランティアが基本だ。講師料、手当、交通費等、経費の見直しを含めて、11月27日に三役会を開催し来年度の予算案の作成、本部への提言をまとめました。40周年を迎えるに当たりもう一度「原点回帰」

会員委員会報告

会員委員会

副委員長 生田 孝文

前号の支部報で報告しましたが、会員委員会の今後の活動計画として次のように担当委員を決めて来年度は本格的に取り組む決意です。

1. 協会専属講師の養成

建築コスト管理士の活用という観点から、豊富な実務経験を持った方に得意分野の講師を依頼する。

担当 林委員

2. 賛助会員の増強

賛助会員に会社PR及び専門業種として講習会の開催、講師等を依頼し、納得して貰える会員勧誘をする。

担当 古川委員

3. 木造住宅耐震診断の相談窓口開設

数年前に「建築総合展」で行った、一般の人を対象にした木造住宅耐震診断後の見積書の無料査定を復活する。

協会が公益社団法人になったので、一般人に対する活動も必要となる。

担当 生田委員

このような内容で計画しておりますが、会員委員会の委員だけでは手が足りません。

これなら私にもできると思った貴方！

是非、協会活動に会員委員として参加してみませんか。会員の皆様をお願いします

昨年8月に岐阜地区の岐阜市藪田ふれあい会館で、工業高校生の建築科を対象に積算の初級教室を開きました。岐南工業高校、関商工業高校、大垣工業高校から12名の参加がありました。

高校生にとって大切な夏休みの3日間でしたが、熱心な受講姿勢に、将来の建築積算士を期待したものでした。

データベース委員会だより

データベース委員会
委員長 加藤 一也

新年あけましておめでとうございます。
今年4月より消費税が8%に増税されます。
2020年の東京オリンピック開催に向けて2014年から6年間で競技場周辺の整備、インフラの整備と忙しくなりそうです。土木・建築工事としてはこれから5～6年は忙しさに悲鳴を上げる状態になりそうです。
しかし、ここに来て東京都猪瀬知事の突然の辞任。東日本の震災の傷が癒えないまま進捗して行くのは如何なものかと疑問が残ります。
とは言えデータベースで将来解体用の建設副産物の資料が活用される時期も近く、日の目を見るのも近いのかと考えるとうれしい気もします。

※データベース委員会の活動報告を致します。

事務所建築建物の将来用解体時建設副産物のデータ化は2001年からのサンプル数54件のご提供をいただき現在分析中です。協力頂き有りがとうございました。紙面にてお礼申し上げます。

私としては1月5日の新春マラソン、2月16日の可児シティマラソンに登録が完了しています。1年間通じてケガ、病気が無いように頑張っていこうと思います。

会員の皆様のご要望を頂き、今後使えるデータベースの構築を進めて行きたいと思います。



設計審査委員会だより

設計審査委員会
副委員長 西部 明宏

平成25年度の設計審査は12月末現在、2件の依頼をいただいております。

先の設計審査委員会だよりで、「いつまでも安値競争が続くとは思われない。一昨年末時は国費の投入により不況続きの建設業界に明かりが灯れば。」とお伝えして来ました。

去年は、リーマンショック以降の低迷してきた日本経済も回復するのではないかと憶測の中、建設物価が急激な上昇となり積算価格、見積金額の変動の激しい一年となりました。この建設物価上昇は資材高騰の側面もありますが、何より現場代理人等の人員配置の手配、職人の確保が難しくなった結果として労務単価の上昇によるところです。これまでの低迷経済により労務費が安く抑えられていたとも考えられます。国土交通省は平成25年度公共工事設計労務単価設定ポイントとして技能労働者の減少等に伴う労働市場の実勢価格を適切に反映することをあげています。

また去年は、入札不調もしくは入札参加への見送りが見受けられました。要因として一つは基本計画・基本設計段階の概算積算、実施設計での本積算と十分に検討を重ねた予定価格も今回の建設物価上昇は想定を超えていたため、発注者側の予定価格と受注社側の見積価格がかい離してしまったことと、もう一つは現場での技能労働者の人員不足により工事が予定通りに進まないことの懸念から入札辞退が生じたことと考えられます。

設計審査では積算数量の精査と共に単価に対して市場価格の動向をふまえた検討も行っています。予算と設計書内容の審査は適正価格による発注のための一助となります。是非お申し込みいただければと思います。

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会

委員長 劔谷 将紀

あけましておめでとうございます。

新しいホームページが形になり5ヶ月が経ちました。皆さん、「お気に入り」や「ブックマーク」の変更はお済みでしょうか。3月には旧ホームページを閉鎖いたしますので、お早めに登録して頂いているアドレスの変更をお願い致します。

また、ホームページを見て頂いて、不具合等がございましたら、お手数ですが事務局にご連絡いただきたいと思います。より良いホームページ作りの為、出来ることはやっていきたいと思えます。(なるべく予算のかからない程度で)

今後考えていることは、皆さんからのご意見を集約できる仕組みを作っていきたいと考えています。今はかなり少なくなった気がしますが、「掲示板」のような意見交換の場も考えましたが、迷惑メール等の管理も難しいので、アンケート形式のようなフォームを作って意見徴収が出来ればと考えています。またその先には、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を使ったコミュニケーションも出来たら良いなと考えていますが、まだまだ勉強不足や課題も多いので、今後の目標として勉強していきたいと思えます。

現在も細かな部分の修正や、まだまだやれる機能・やりたい機能もありますので、随時改良していきたいと思えますが、まずは更新速度を速めて、皆さんの役にたつホームページ作りに、今年も委員一同頑張りたいと思えます。

資格者の発信力が問われている

ペリカン推進委員会

委員長 中川 英人

ペリカン作戦は企業訪問活動を通して当協会の理解と認定事業の資格取得を推進していく活動ですが、この半年間特に活発な活動がなされず、成果報告も挙がってまいりませんでした。推進する側の気運が今ひとつ盛り上がり欠けているようで反省の残るものであったと思えます。推進する側の者が資格の重要度を企業、社会に訴えるだけの自負を持たないのも要因の一つではないでしょうか。

先般訪問した企業で話されたことですが、会社として資格取得を社員に推進し、多くが積算士を取得されたにも係らず更新講習手続きを取られず、残念ながら資格認定を失われた方が幾人もあったとのことでした。理由は資格を持ち続けるメリットが社内において、また対外的にもなく、それほど必要に迫られるものではないので更新費用を支払ってまで資格を維持する意味が薄れたのではないかと、いうものでした。

本来であれば積算士やコスト管理士が見積書、予算書を作成した、監修したということその内容の信頼度が格段に高くなり、発注者や事業主がその資格者や営業マン、そして企業を高く評価する、といったところまでに当協会認定資格のブランド化を図らなければならないと思えます。資格取得者のほとんどが公共建築積算とゼネコンの見積積算に係わりをもつ現状ではなかなか資格を持つことの重要度が広まりません。建設コストに一步踏み込んだ発言力と発信力を持たないと企業や社会は耳を傾けてはくれません。特に昨今の建設費の急激な高騰や先行き不透明な建設市場において、事業主、発注者、あるいは設計者に的確なコストアドバイスが出来るのが積算士、コスト管理士である、となれば推進していくことは大きな意味を持つことになるのではないのでしょうか。

教育委員会だより

工業高校における積算教育

愛知県立碧南工業高等学校
教諭 桑田 隆行

1 はじめに

愛知県立碧南工業高等学校は、昭和48年に創立され、現在機械科2クラス、電子工学科2クラス、建築科1クラス、環境工学科1クラスの四科6クラスがあり、在籍生徒数は約700名です。

学校のある碧南市は人口7万人、三州瓦といちじくで有名な町で、西三河にあります。西三河はトヨタのお膝元であるため、関連企業も多く、製造業が盛んな町で、生徒にとっての就職環境は非常に恵まれています。

ただ、碧南市にはめだった建設業がないので、建築関係の就職はよくありません。そのため、生徒のほとんどが製造業に就職します。建築を教える教員としては淋しい限りですが、建設業の職場環境や将来性などを考えると、積極的に勧めることができません。

私は大学卒業後、昭和51年4月から工業高校の教員となり、35年勤め定年となった後、三年前から再任教員として、同じ職場で働いています。

2 本校での積算教育と積算士補教育

1単位とは1週間に1時間授業をすることで、今は週休二日制ですので、1年で30単位、卒業までに90単位です。その中にHRが1単位あるので、教科は87単位で、その内訳は普通科目が43、専門科目が38、選択科目が6となっています。このように専門科目の単位数が以前と比べて大きく減ったのは、時代の流れのためです。

この内、施工の単位数は4（2年生で2、3年生で2）で、積算士補の指導は2年生の施工の授業で行っています。普通なら3年生で実施すべきですが、あえて2年生で行っているのにはわけがあります。それは履歴書に書ける資格を取らせ、少しでも就職に有利にという思いからです。

残念ながら、現在の工業高校建築科では、在学中に取得できる建築関係の資格がほとんどありません。

本校では平成22年度から積算士補の資格取得を2年生で実施し、22年度は39名のうち24名が合格し、19名が登録をしました。また23年度は39名のうち34名が合格し、29名が登録をしました。さらに24年度は37名中16名が合格し14名が登録をしました。

2年生の施工で積算士補の指導をする時の最大の問題点は、1年生の段階では専門科目をほとんど勉強していないことです。

1年生では製図（2単位）と実習（3単位）と構造（2単位）のみが専門科目で、2年生になってから本格的に建築の専門科目を学びます。

それを考慮して、2単位の施工の年間授業時間（約50時間）の内、最初の30時間で施工の基本を、そして残りの20時間で積算と積算士補（建築積算のテキストを使って）を指導し、三学期に積算士補の試験を行っています。

現在の施工の教科書では積算に関する部分が最後の章にあり、分量も全体の10%程度しかありません。そのため教える順番や内容を工夫して、積算士補を中心に据えた授業を展開しています。

3 おわりに

アベノミクスによる公共投資の拡大、東日本大震災の復興需要、さらに東京オリンピックも加わって、にわかに建設業がクローズアップされてきましたが、人材の育成という観点からみると、お粗末というしかありません。もともと工業高校建築科の役割は、中堅技術者（現場監督）を養成することでした。でも現状では、とてもその役割を担っているとは言えません。総合的で抜本的な改革が必要だと思えます。

講習委員会だより

出張講習会 福井市役所

11月25日、全国的に寒冷前線に見舞われるなか、福井市役所さんへ『チェックの手法』の出張講習会へ行ってきました。一本早めの『しらさぎ』に乗り大正解。その後の列車には突風の影響で遅れがあった模様です。

11時には福井駅へ降り立ち、昼食にはまだ時間が早いので、事務局長、講習委員長の三人で、開運なんでも鑑定団よろしく、まずは会場周辺の探索としゃれこみました。柴田勝家の城址跡を見学しながら、昼食は何にしようか検討し、結局おいしいお蕎麦を頂いた後、予定通り13時より講習会に臨みました。

市役所からは、総勢30名弱、営繕課の方を中心に世話になっている（福井駅西再開発）都市戦略部の方まで広範囲の部署からの参加がありました。始めは恒例通り、藤井講習委員長が、『積算基準の意義と積算士の重要性』をみっちり説明しました。皆さん非常に熱心にメモをとったり、うなずいたり順調なスタートでしたが、ここで既に10分の予定超過です。



————— 積算基準について —————

やっと本題の『チェックはいつやるの!』スタートです。会員の方々なら当然、積算日程に応じて、その都度チェックを繰り返し行う事をご存知ですが、何せ相手は発注者の方です。発注者の立場でのチェックを説明せねばなりません。まして

講習委員会

副委員長 山田 治

福井市では積算事務所が積算に関与する事が少ないと、お聞きしていただきましたので、そのあたりの事情も考慮せねばなりません。そこで用意しておいた資料から、内訳明細書以外にも成果物（各種集計表・積算書・質疑応答書）を提出してもらい、それらのチェックを積算日程に応じて早めに済ませておけば、後戻りも少なく日程が厳しくとも余裕が生まれる事の説明をしました。

チェックシートは協会のHPに掲載してあるものを使っての解説です。ダウンロードできますから活用してください。と言いつつもチェックシートの使い勝手は自分で決めて、積算者と共有する事が大切ですよと念を押しました。次に十分な積算時間を、確保する事の必要性を説明しました。十分な時間を確保しないとお互いが不利益をこうむる事の説明もたっぷり時間をかけて行いました。

休憩後は趣向を変えて、内部床面積のチェックを実際にやっていただきました。経験年数の長さにより個人差がある事が見てとれました。又性格も影響を受ける様です。集計表と明細書を利用したのチェックでしたが、皆さん独自の手法でチェックされており、非常に手間取っていました。予定時間が過ぎてもチェック終わりましたとの返事がありませんので、こころで打ち切りです。

次に解説に入ります。皆さんを拝見しますと、集計表からチェックする方、明細書から入る方、両方一度にチェックされる方と十人十色でしたので、チェックの順序を解説しました。最後に、『大胆かつ繊細なチェック』に心掛け、『木を見て森を見ずの事がない様に』してくださいと、チェックの極意も披露しました。重要な事は、発注者側のチェックですから、そういったチェックのポイントを知り、それを積算者（設計者）に確実に実践させる事の重要性を、私の経験談から具体的に説明を加えました。

ここでまとめに入る前に質問タイムです。なかなか挙手がないので、先ほど休憩時間に質問があった、妥当な積算期間はあるのか?についての解説です。最低『 $8 + \sqrt{A} / 10 = \text{積算正味日数}$ 』は確保してください。但し一日当たりの積算人員で積算日数は決まります。大勢入れても効率は落ちますし、ひとりふたりだと、上記通りにならない場合もあるので、積算担当者と打合せは必ずしてくださいとお願いました。



————— 質問タイム —————

すると次々と質問が出始めました。仮設工事である、外部足場と鉄骨足場についての質問です。藤井講習委員長にも手助けをしていただき、外部足場の架け面積と設置期間の設定方法、鉄骨足場の基本的な考え方の説明です。こちらからも共通仮設はできる限り積上げてくださると、この際ですから無理なお願いもしてきました。

以上が出張講習会の要約ですが、翌日担当の方からご丁寧なメールを頂き感謝感激でした。『我々が学びたいと考えていた事項と内容が合致しておりとても有意義でした』とのお言葉です。そうなので、受講者から見れば有意義でなければ意味がありません。資料を揃えて行った甲斐があったわけです。次回は『概算手法』との要望もあります。東海北陸支部のホームページには、出張講習会の内容も掲載してありますので、どうぞアクセスしてください。講習内容に合わせて最適な講師を派遣しますので、皆様どしどしお申込みください。

北陸部会だより

北陸部会

高島 義昭

○ 25 年度後期北陸部会の活動報告

8/31(土) 八兆屋金沢駅前にて第一回石川地区交流会・勉強会

9/21(土) 平成 25 年度石川地区主催現場見学会(小松市仮称科学交流館建設工事)

10/27(日) 平成 25 年度認定試験 富山県民会館にて 建築積算士一次試験 2 名, コスト管理士試験 2 名

11/9(土) 平成 25 年度建築積算士更新講習会 第二回石川地区交流会

12/3(火), 12/10(火), 12/17(火) 富山県教育文化会館にて建築積算わかりやすい実技勉強会

平成 26 年に積算士 2 次試験に向けて 2 回模擬試験を予定しています。 1/12(日), 1/19(日)

平成 15 年 10 月に北陸部会が発足して以来研修会、勉強会、交流会など活動がおこなわれてきましたが、大半が宮西副会長の個人的な力によるもので、今後部会の総合的な活動にするべく若い人たちにも出席してもらえよう努力しているところです。

今後の活動について、金沢で改修積算についての講習会等を計画しており、少しずつではありますが部会全体として取り組んでいる状況です。

平成 25 年度現場見学会は部会の川真田、山西、窪田氏の尽力で第三回目を開催いたしました。

科学と技術に夢を持つひとづくりをコンセプトに 3D シアター、ものづくり体験科学体験展示、イベント多目的ホール等を備えています。

建物は 4 列の湾曲する屋根面(ウェーブ)が並ぶ形態が特徴で屋根は人が歩行できます。

構造の複雑さが目に付く積算屋泣かせの建物でした。

地域委員会 静岡地区だより

(株)アイピーエス 藤曲 充信

最近、社員達のこんな気落ちした言葉を良く聞きますが、建築積算に携わる皆さんの会社はどうでしょうか?此れもお客様のため、惹いては会社のためだと上司が言いますが本当ですか。

①「見積期間が短いね～」見積作業は1/3方式です。見積期間が3週間ですと、積算作業に1週間、見積依頼と値入れ作業で1週間、社内チェック・金額検討で1週間、更には質問回答の訂正・値入もあります。

②「積算が細かくなって大変だね～」余裕を見込んだ単価では厳しい競争に勝てません。余裕を排除した単価で値入れする様になり、場所・部位・数量度合いなどによる項目の分けや、現場での常庸的な項目追加などの明細化などなど。

③「5時から仕事で～す」午前中の質問回答が夕方までずれ込み、今日は残業なしの予定から深夜残業へと一変してしまいます。

④「朝までにお願いね～」此れは、お互いに期日があるため仕方ありませんが・・・。

建築積算とは何かを自問しますと、建築数量積算委託業務は情報処理産業で、建築積算を行う上での特殊技能(建築知識と積算技術)を兼ね備えたサービス業だと認識しています。成果物は紙ベースや電子データの明細書で、期日に間に合う事は当たり前、不具合が無いのも当たり前(95%でも110%でもなく、常に100%が当たり前)と上司から指導を頂きました。サービス業なら個人は勿論、会社としても常に時間など気にせず対応し、お客様に対して熱意(まじめにとことん!)と技術的(施工を考えた積算!)にも、高サービスを提供しなければなりません。でも、最近の設計図面の精度はどうでしょうか。各図面の相違、詳細図などの必要図面の不足、そして、標準詳細図をただ単に貼付けるだけで、各図面の整合性を確認せずに、積算の依頼をしている様になっていませんか?建築設計

に携わる人としてなんと情けない事でしょうか。建築積算に携わる関係者の設計事務所、ゼネコン、積算事務所の一人一人が与えられた役割を確実に行えば、質問書の作成や修正の時間などフロントローディングは回避して、後工程に於ける修正作業はコスト高と言う意識を持ち、現場の実情も視野に入れてお互いが改善すべきではないでしょうか。「立ち上がれ建設業界」おもてなし精神で、次工程はお客様!になって仕事を進めようではありませんか。

愚痴はここまでとして、静岡地区便りですが、公益社団法人日本建築積算協会としての元年を迎えています。東海北陸支部の教育委員会の活動に於ける、学校向けの「建築積算授業」を、今年も静岡県立浜松工業高等学校のご協力で開催することができました。授業内容は例年通り、日本建築積算協会発行の建築コストと積算がよくわかる、学校用教材に最適なPMCシリーズⅢ「建築積算」を教本として実施しました。従来は1日50分間授業3回を5日間でしたが、本年度は学校側のご協力もあり1日50分間授業3回を1日増やし6日間実施しました。第一回目の授業は、9月11日(水)8時50分～11時40分まで、その後の授業は9月18日(水)、10月2日(水)、10月16日(水)は積算授業を開始してから、初めての経験による台風26号の影響で、10月23日(水)に順送り、10月30日(水)、11月6日(水)が最後の授業となりました。部分的に講義が出来ない所がありましたので、来年度は7日間(21時間)にて、学校側に要請をしております。11月13日(水)は積算士補の試験を実施し、12月9日以降に結果が分かります。受講者の皆さんが全員合格できることをお祈り申し上げます。そして、進学や就職される生徒の皆様方に役に立つような、建築コストと積算とは何か、多少でも理解できる様に分かり易い授業を目指して、頑張りたいと思います。

東京から その1

支部会員 西田 彰

名古屋⇔大阪と西日本を中心に駆け回っていましたが縁あって東京勤務となり、はや1年が過ぎました。月曜日に名古屋を立ち金曜日に戻るという東京生活の中で、見聞き体験したお話を綴ってみようかと思えます。まず今回は、東京の建設業界の状況をお話しします。

昭和の最後の年のドルショックに始まり、この25年間、バブルの崩壊、サブプライムローン問題に始まるリーマン・ショックと、経済恐慌の荒波を潜ってきました。しかし昨年はアベノミクス経済論に火が付き、一気に明るさを取り戻しました。実際に今年度前半は、消費税の駆け込みで需要に動きが見られました。これらは全国的なことですが、東京では2020年東京オリンピックの決定が景気回復に拍車をかけました。オリンピック会場の新設・改築の11プロジェクトで4554億円が建設費として投入されるとのことです。これらの積算料金を考えると・・・(捕らぬ狸)これに合わせて首都高速道路の耐震補強も早急に進められることになると思いますから土木も動きます。東日本大震災復興計画もガレキ処理やインフラ整備も進み、災害公営住宅など官公庁物件が数多く発注されています。

積算協会やJ A Q Sで皆さんのお話を伺うと「暇な時期がなくなった」「仕事を断ることが多くなった」「積算料金が多少上がった」とのことです。某ゼネコンなどは「仕事を取っても人の手配ができないので、これ以上仕事は取れない」とのこと・・・確実に明るい兆しが見えています。

名古屋においては、名古屋駅・ささしまライブ24の周辺で、2015年から2017年に完成予定の大型工事が始動しています。9物件で約90万㎡になります。名古屋もにぎやかになってきました。

このところ価格の急騰が入札不調を引き起こしています。今後どのように価格が動いていくのか気になるところです。

東京から その2

支部会員 西田 彰

東京での協会活動についてお話いたします。

まず、以前ペリカン大作戦でお知り合いになった松岡関東支部長の勧めで、私が東海北陸支部で「設計審査委員会」に所属していたこともあり「平成25年度評価評定委員会」のオブザーバーとして参加させていただいています。委員5名で構成されています。これは第三者として、評価評定を下したり相談をお受けしたりする業務展開を、積算協会としてどのように進めていくかの検討グループです。昨年9月に第一回目の会合がありました。東海北陸支部での設計審査の様子や問題点をお話ししました。

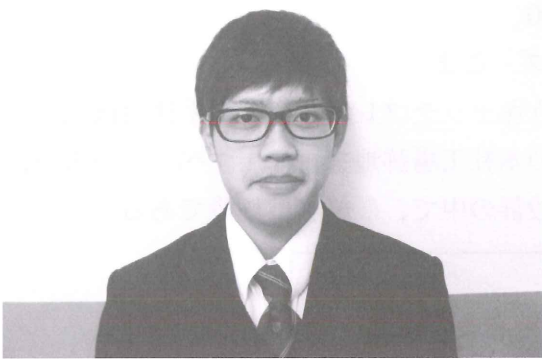
次は、コスト管理士システム研究会(以下コスト研)の「建築工事建築数量積算研究会」の委員です。10名で構成されています。第一回目が10月にありました。新しい時代に対応した積算基準ということで、現在の建築構成材料・構造形式・施工法との整合性をはかり実態にあった基準にとのことです。以前からの問題点も含め、最終決定までには4～5年を見込んでいます。改定内容によっては、積算ソフトにも影響するようものが出てくるのではないかと心配しています。

次も同じくコスト研の「建築工事内訳書標準検討委員会」の委員です。これはJ A Q Sの代表として参加しています。24名で構成されています。今回の改訂の多くは言葉使いの改定であり、その他新材料の計上や項目の追加などが全体にわたっています。改訂版(平成25年版)は、昨年10月に出版されていますので、まだお持ちでない方はぜひともお買い求めください。事務局(昭和ビル2階)でも用意しています。

そして最後に、J A Q Sの役員(監事)として活動しております。

新たな方々との出会いがあり、右も左もわからない土地で忙しく動き回っています。

インターシップを終えて



富山県立富山工業高等学校
建築工学科 中島 晃一

明峰積算事務所さんで三日間のインターシップを行って「働く」ということについてとても多くのことを学ばさせていただきました。

積算という建築にとってとても大切な仕事の内容や、職場でのコミュニケーションの大切さ、仕事に打ち込む姿勢、礼儀など本当に様々なことを学びました。インターシップを通して自分に足りないものも見えてきました。一番足りないと感じたのは集中力です。明峰積算事務所のみなさんは、とても長時間仕事に集中していて自分の足らなさを思い知りました。

建築の仕事は、数字だらけなので計算力も必要だと思いました。職場の方達は、なんでも相談、確認し合っていて、普段から積極的にコミュニケーションをとることが大切だと思いました。

短い期間だったのですが自分にとってはとても濃い三日間でした。近い未来、社会に出たときにこの体験が絶対に生きると思います。

三日間ありがとうございました。

指導教諭 高見千佳子先生より一言

1年次より、いろいろな建築コンペに挑戦し、2013年は北陸の家づくりコンペで最優秀賞を受賞することが出来ました。現在も新しいコンペに取り組み、頑張っています。



富山県立富山工業高等学校
建築工学科 中龍 琴乃

私が三日間のインターンシップで学んだことは、確認することや質問することの大切さです。

自分の作業をしながら事務所の皆さんの仕事風景を見て、互いに確認し合ったり、質問し合ったりされていることに気づき、自分も積極的に分からないところは質問し、心配なところは確認してもらおうようにしました。

それでも、ミスをしているところがあり、確認をしなかったら、と考えると、質問や確認がとても大切なんだと感じました。

また、図面の見比べをして事務所の方が作成された図面は、色がキレイに分かれていますごく分かりやすかったのに比べ、自分が作成した方はあまり色分けがなく、分かりにくいと思い、私はどんなものにもちょっとした工夫が必要なんだと思いました。これからは、質問も確認もしっかりした上で自分なりの工夫が加えられるようになりたいと思いました。

指導教諭 高見千佳子先生より一言

勉強や資格取得を頑張っています。CAD検定や福祉環境コーディネーター3級などの検定に取り組みました。部活では、写真部に所属し、いろいろな景色を撮りに出かけています。

平成25年度 現場見学会(石川地域主催)報告記

大嶋建築企画設計研究所 代表 大嶋 寛則

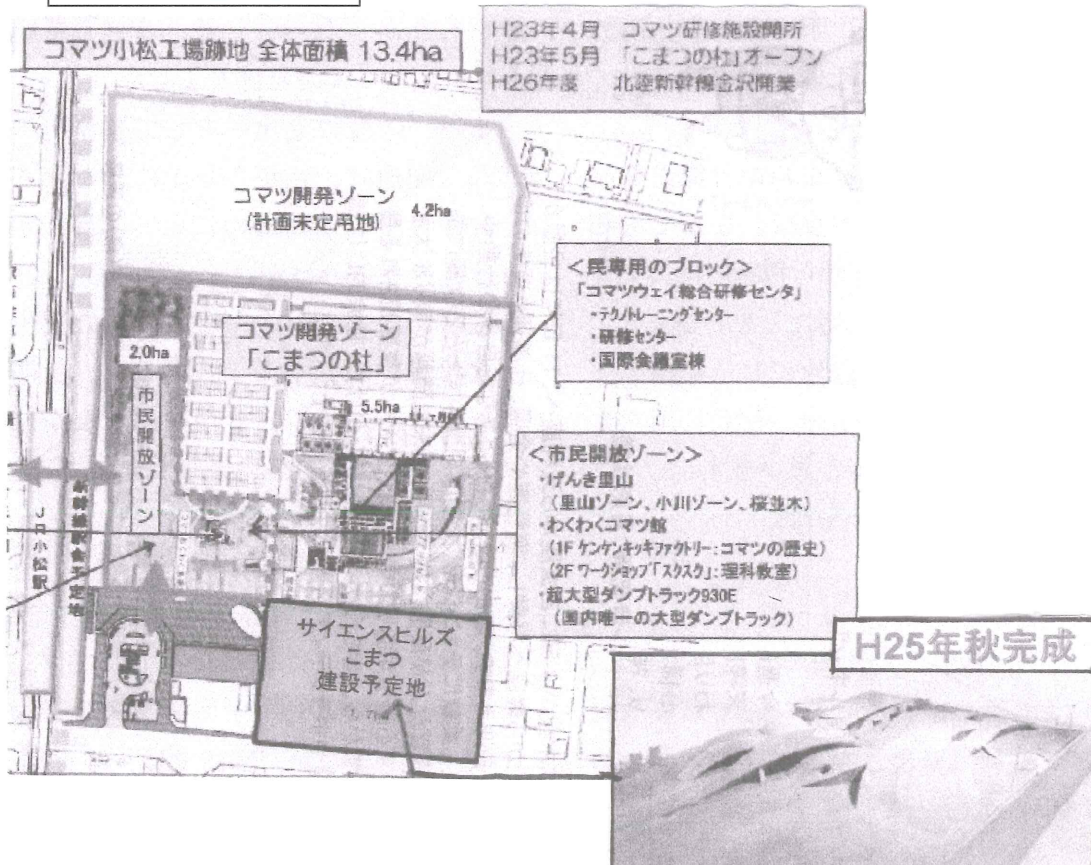
見学日時 平成25年9月21日 14:00～16:00
 見学施設 (仮称)科学交流館 「サイエンスヒルズ こまつ」
 施設の計画概要 『科学と交流のまち』を目指してというキャッチフレーズで、大手建設機械メーカー「こまつ」(旧小松製作所)の本社工場跡地を再活用すべく小松市が、「こまつ」の協力のもと街づくりの施設群の中で、最終整備施設である。

- 整備コンセプト**
1. ものづくり精神の継承と科学技術意識の継承
 2. 未来のに向けた地域の活性化と産業振興
 3. 里山を生かした自然空間
 4. 再生可能エネルギーを利用した未来ゾーン

小松駅周辺の土地利用計画

エリア面積	13.4 ha	の中に
こまつ開発ゾーン	4.2 ha	(計画未定用地)
こまつ開発ゾーン「こまつの杜」	5.5 ha	テクノトレーニング 研修センター、国際会議室棟
市民開放ゾーン	2.0 ha	げんき里山、わくわく小松館 超大型ダンプトラック 930E

サイエンスヒルこまつ (見学対象施設) 1.7ha 科学交流館



意匠計画・コンセプト ——— 波打つスラヴがつくる緑の風景 ———

当該施設は、科学とものづくりについて遊びながら学ぶことができる子供のための施設とイベントホールや3Dシアターなどの複合施設である。1.7haの敷地にH26春オープンに向けて建設が進んでいる。ウェーブ多用デザインでなかなか一筋縄では収まらぬ難易度高い施工を求められている。

1. 工事概要

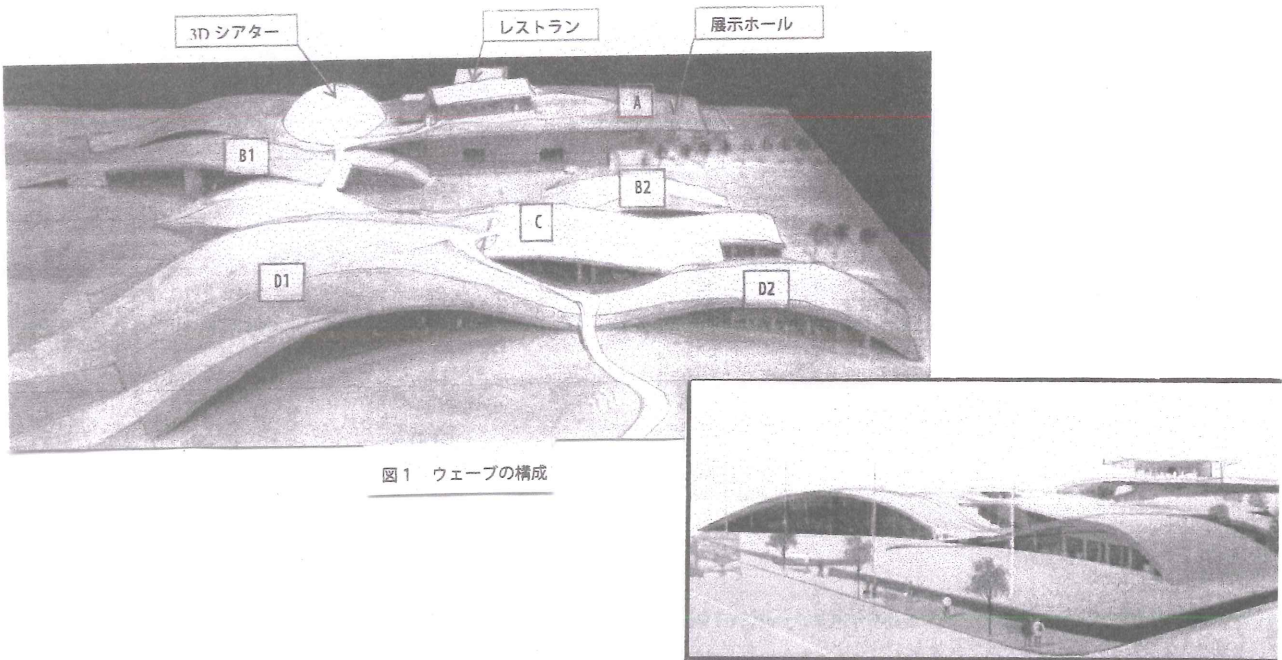
工事名	(仮称) 科学交流館新築工事 (新築工事)		
工事場所	石川県小松市八日市町地方地内		
設計監理	株式会社 スタジオ建築計画		
施工	熊谷組・加越建設特定建設工事共同企業体		
工期	平成24年8月13日～平成25年9月30日		
敷地面積	14428.84 m ²	建築面積	6123.4 m ²
延床面積	6016.81 m ²	建物高さ	11.95 m

設計者のこだわり

- 曲線をスッキリ美しく
- ズラシ配置建物間に生じる視線の抜け
- 外構～屋上への連続芝

2. 総合施工計画と工区割り

波打つ屋根スラヴが連続する施工難度の高い建物だけに施工上の創意工夫とコストダウンの達成は必須となる。(図一1 参照)



建物全体を6工区の分割し、すべての工区を並行して進めて、工期短縮を図り先行試験工区で施工上の創意工夫を検証しつつ施工していた。

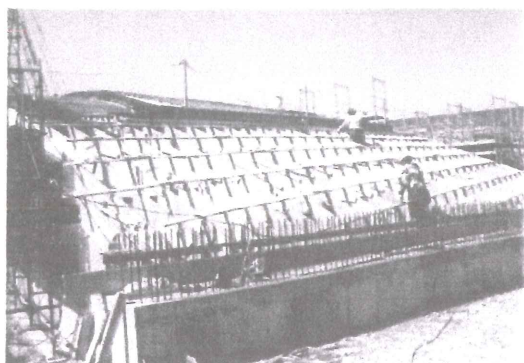
上記の特殊工法は以下のようなものである。

① 曲面スラヴ型枠工法（ウェーブ屋根全般）

屋根スラヴはコンクリートで表現 ⇒ 櫛型枠とビーム傾斜多角工法

ウェーブは、2次曲線と3次元曲線箇所の工夫

3次元CADで近似形状を作りだし、仮設材（ビーム材）で2mピッチ程度の多角化で再現



クシ型枠工法



ビーム傾斜多角工法

② トラスウォール工法（3Dシアター部分）

ドーム屋根（直径9mの半球）にトラスウォール工法（旭ビルウォールkk）採用
仮設トラス筋と構造体鉄筋のユニット化で現場据付のみ

⇒ 労務低減、現場は据付のみ



トラスウォール搬入状況

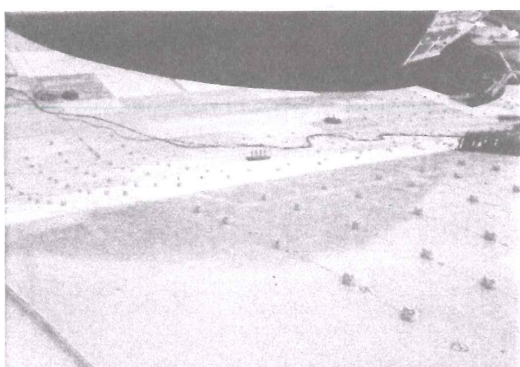


トラスウォール据付状況

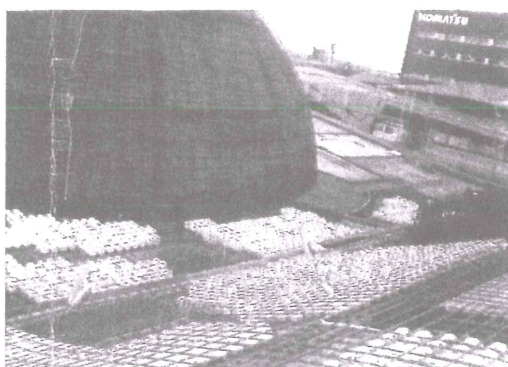
③ ボールボイド工法

大空間のフラットスラヴ部分（エントランス部分）軽量化を目的とする

⇒ ボイドの据付位置は、座標にて管理し決定



ボールボイド墨出し・位置決め



ボールボイド据付完了状況

構造設計概要 (主として形態と構造形式)

建物は4列の湾曲する屋根面(ウェーブ)が並ぶ形態が特徴。下に内部空間がある。
屋根は人が歩行できる。

- A ウェーブ : 約 30 m × 112 m ドーム状 3 Dシアター + 多目的ホール + S 造のレストラン
西側は円錐面、東側円筒面の組合せ
- B 1 ウェーブ: 約 2 ~ 16 m × 67 m 傾いた円筒面の組合せ
- B 2 ウェーブ: 約 15 m × 23 m 西側円錐面、
- C ウェーブ: 約 15 m × 23 m 西側円錐面、東側は円錐面の組合せ
- D 1 ウェーブ: 約 33 m × 59 m 西側円錐面、東側は円錐面の組合せ
- D 1 ウェーブ: 約 16 m × 34 m 東側円錐面、西側は円筒面の組合せ
- 各ウェーブは起伏の程度が異なり、各ウェーブ境界部の大部分は屋根レベルを共有しないが互いに共有するスラブ面、壁面共有することを考慮し、全体を一体構造とする。
- 主体構造 RC造耐震壁付ラーメン構造(壁量確保し強度・剛性の高い構造)
- 各ゾーン 建物重量と耐震要素の剛性比率をなるべく同じものとし、ウェーブ境界の接続部にはせん断力のやり取りが可能となる十分な強度を与える。

構造計算: ルート3 (保有耐力計算を行う)

RC部分の応力解析は有限要素法

基礎構造全体 2重スラブにて、ウェーブによって生じるスラストは基礎梁、耐圧版及び1Fスラブ全体で抵抗する。

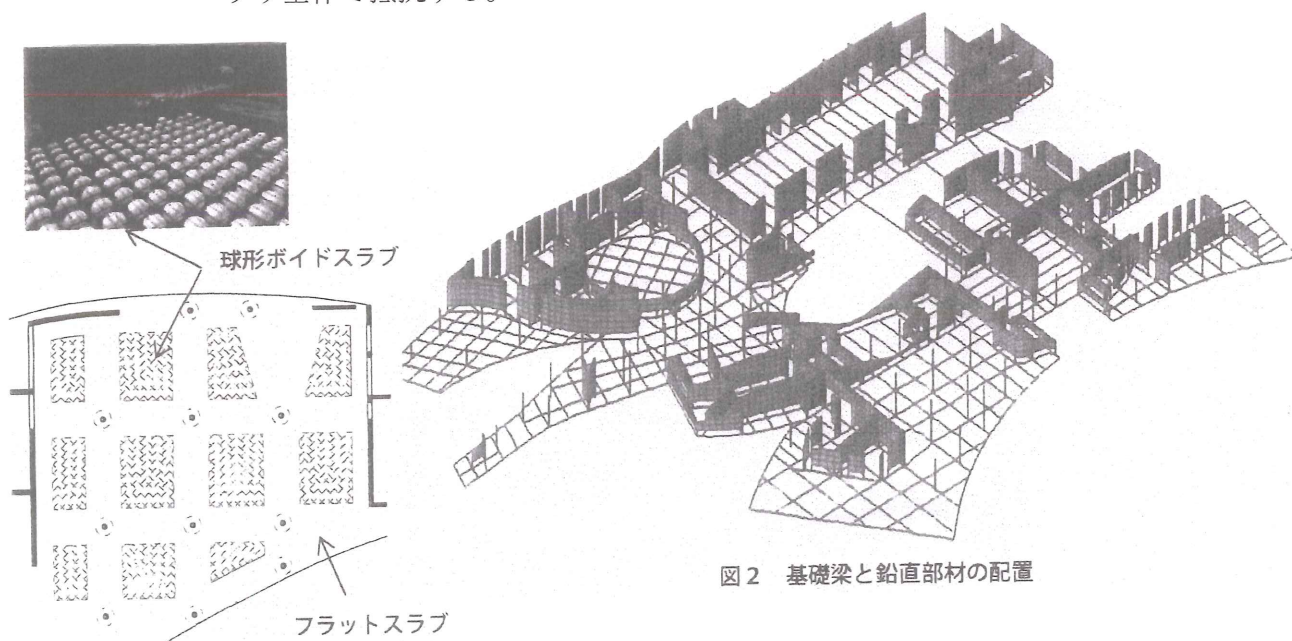
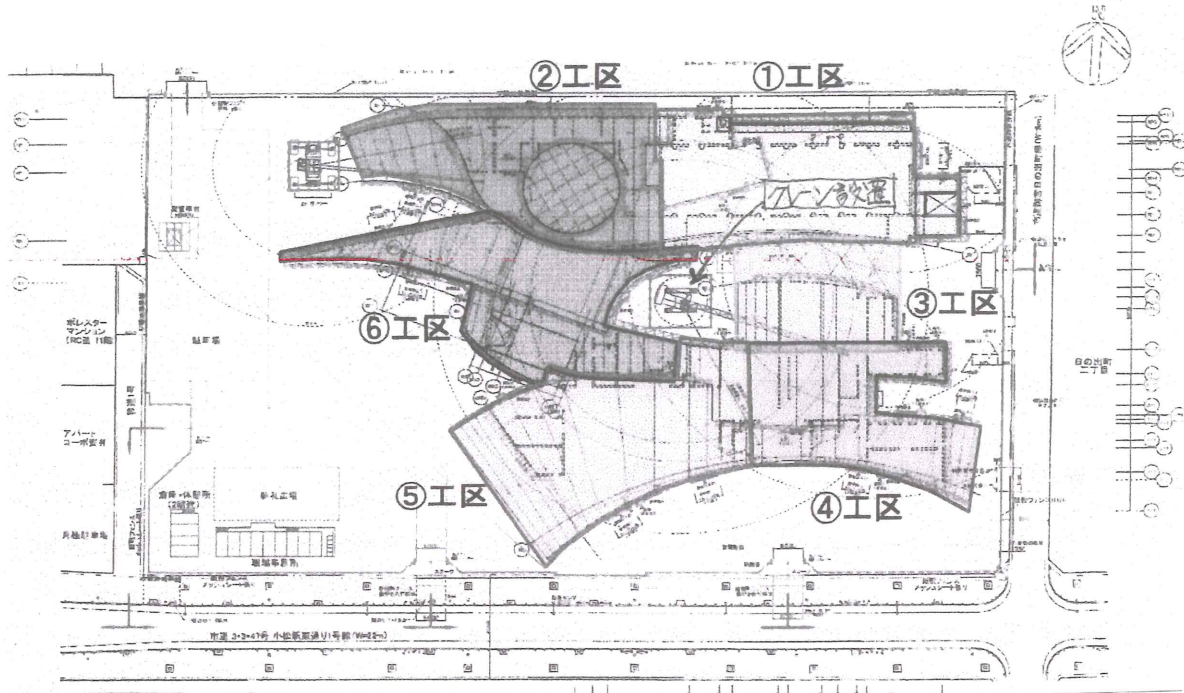


図2 基礎梁と鉛直部材の配置

図3 屋根スラブの構造

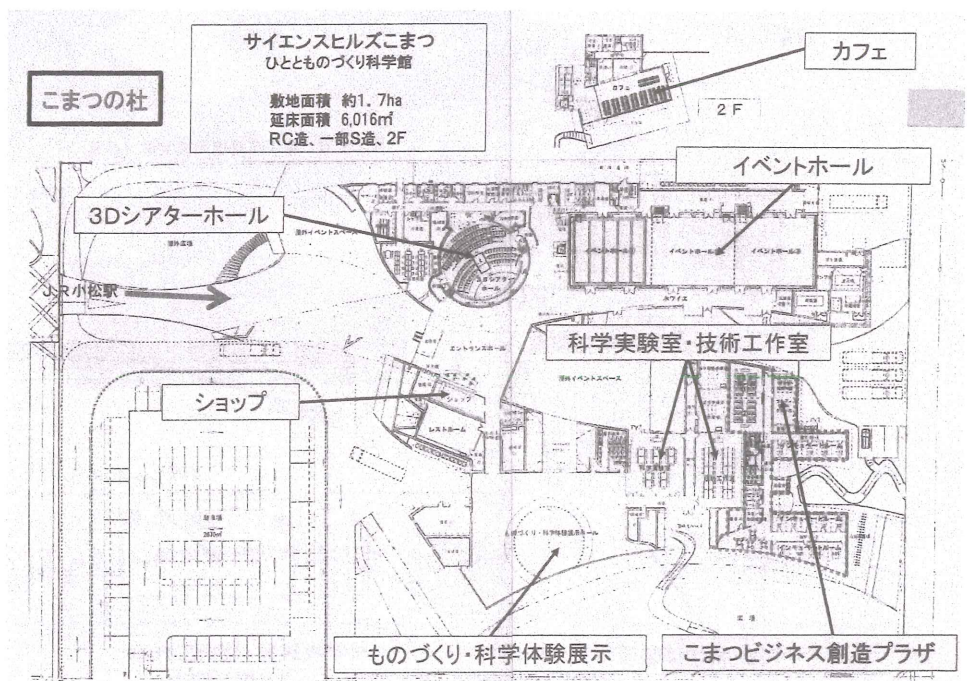
図4 BウェーブとCウェーブの境界部分



設備への工夫要約

再生可能エネルギーの活用

- 太陽光・風力等発電 ⇒ リチウムイオン蓄電池 ⇒ 夜間照明へ供給
環境への配慮
- ウェーブ状屋根の緑化 ⇒ 屋根の断熱性能効果向上
- 雨水等利用 ⇒ 灌水システム
- 日射コントロール ⇒ 大きな庇、ハイサイドライト等



現場見学を終えて

「サイエンスヒルズ こまつ」は『こまつの杜』プロジェクトのメイン施設であるが故に、建物の力が入っている。それだけにこだわりが形態・機能・施設内容に感じられた一方、施工者サイドの建設実施面での労苦は察するに余りあると共に、創意工夫には敬意を表したいと思った。特殊な納まり、とりあい部分等が多いだけに、管理者の維持管理運営上の難しさも乗り越えて行かれんことを願い期待するものである。

一方、このような複雑な建築物は、工事費の積算とコスト調整、実行予算算定時に常に合理化を伴いが、コストダウンの許容範囲が極端にタイトとなるのが常である。

その面でも、施工者の力量が問われることになるが、別途工事(外構、展示、什器備品)が設定されているので、浮かぶ瀬もあれ・・・と願っている次第である。

尚、見学会参加人員は 14 名余、残暑の厳しい日ではあったが無事終了した。以下に追加参考補助資料を掲載し、稿を終えます。

パソコンデータをお送り下さい。 大量にコピーやプリントするなら 印刷の方がキレイでお得です。

●目安は 500 枚以上あれば印刷の方がお得です。

自費出版のお手伝い

俳句集や詩集、自叙伝、社史、小説や写真集、予算に合わせたご提案をさせていただきます。

ホームページ作成

ホームページ更新されてますか？
簡単更新ホームページや
通販サイトの構築ご相談下さい。

写真撮影承ります

デジカメにてカタログ商品撮影、
建物撮影、メニュー撮影、
スナップ撮影など承ります。

動画撮影・編集

PR用のDVDやwebムービー、
プレゼン資料から結婚式ムービー、
サプライズムービー作成など

売れるホームページのSEO

ホームページの更新は、できていますか？更新頻度が少ないとSEO（検索エンジン最適化）的にもよくありません。業者まかせにすると更新の度に経費がかさんでしまうこととなります。簡単に更新ができるシステムで更新頻度とサイトボリュームをかせぎましょう。効果的なSEOやホームページ作成もご相談ください。

●営業品目

書籍印刷物・記念誌・会社案内・カタログ・パンフレット
チラシ・ポスター・メニュー・新聞・伝票類・フォーム印刷
メモ帳・手帳・名刺・封筒・はがき・DM・カード・券
プログラム・賞状・案内状・シール・ラベル・しおり
包装紙・ビニール袋・カレンダー・のし紙・文集製本
CDジャケット・手さげ袋・パッケージ・マグネット
各種紙加工（折り、穴、ミシン、断裁、丁合、製本）
DTPデータ制作・PDFファイル作成・CD、DVD作成
パッケージ作成・オンデマンドプリント・宛名プリント…他

- ◆コピーより安いリソグラフ印刷(A4@5円以下)
- ◆写真入りのぼり旗作成(500×1800mm)
- ◆大判(BO)カラープリント・ラミネート加工
- ◆カッティングシート・垂れ幕(ターボリン)作成

情報化社会のエキスパート
エクセレンスな印刷は…

印刷物のデザインから印刷・製本 コンピューター関連サービスまで

山田印刷所

012-012-2992

TEL.0572-68-2992 FAX.0572-68-7417
URL www.ymdp.jp 瑞浪市山田町510番地

B-1 グランプリ in TOYOKAWA

神野建設株式会社 建築事業部

山本 喜久

平成 25 年 11 月 9・10 日に市制 70 周年を迎えた豊川市にて、ご当地グルメでまちおこしの祭典 B-1 グランプリが開催されました。

まず、豊川市の紹介をさせていただきます。豊川市は、人口 18 万人、愛知県の東三河にあり、名古屋から電車で 1 時間ほどの場所に位置しています。北は本宮山、南は穏やかな三河湾に囲まれ自然豊かなまちです。また、古くは東海道のふたつの宿場町があったことから、交通の要衝として栄え、歴史を感じる街並みのなかには、名所旧跡が数多く残っています。その中でも有名なのは日本三大稲荷のひとつとされ、年間数百万人の参拝客が訪れる豊川稲荷があります。その豊川稲荷は、商売繁盛の神として知られていますが、実は曹洞宗の寺院で正式の寺号は妙巖寺「みょうごんじ」ということです。また、めずらしいところでは、武田信玄の軍師、山本勘助のふる里でもあり、牛久保町に遺髪塚が残っています。他には、御油の松並木が御油宿から赤坂宿までの 600m にわたって約 300 本の松の大木が並び、当時の面影を残しています。

そんな豊川市で開催された B-1 グランプリには、出店団体 64、約 4,900 人のスタッフ(内 3,600 人はボランティア)で 2 日間、58 万 1 千人と予想を大きく上回る来場を頂いたそうです。また、ゴールドグランプリには「浪江焼麺太国(福島県)」が輝きました。

B-1 グランプリの「B」は地域 BRAND(ブランド)の「B」であり、まちおこしに取り組み地域ブランドを確立しようと日々活動する仲間の旗頭になり、B-1 グランプリは、まちを愛する仲間たちが集い、全国に各地のまちの良さを発信するイベントであり、お互いに「人づくり」「人おこし」に切磋琢磨しあう地域ブランドを競い合うイベ

ントということです。

今回、会場は「豊川稲荷大駐車場会場」「稲荷公園会場」「自由広場会場」「豊川市陸上競技場会場」「豊川市野球場会場」「豊川市総合体育館

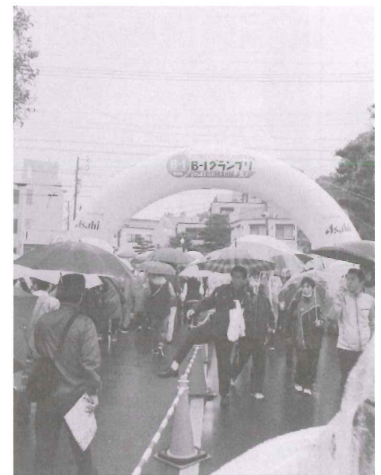


前広場会場の 6 か所で各会場をシャトルバスでつなぎ豊川市中心部が B-1 グランプリ一色に染まっていました。そんな中、私は 9 日に会場を訪れましたが「たべりんクーポン券」が売り切れていて購入できず、10 日に再度訪

れました。JR 豊川駅も写真のように大勢の人で普段にない様相でした。

行列に 30 分ほど並び、「豊川稲荷大駐車場会場」に入場しましたが、やはり会場も満員で人気処はすでに長蛇の列であったため、容易に購入できる処を 3ヶ所食してきました。10 日は、あいにくの雨天で屋根のあるところがなく、みんな傘をさしながらの食事をしていました。

こんな悪天候にもかかわらず、出展されている団体、スタッフ、来場者の方々のおかげで B-1 グランプリ in TOYOKAWA は大成功であったのではないかと思います。今回が第 8 回目ということで 9 回、10 回……と各地で開催できることを楽しみにしたいと思います。



養老改元 1298年

広報委員会

委員 桑名 利男

西暦 2017 年は、年号「養老改元」から 1300 年となります。約 1300 年前 時の帝「元正天皇」が、滝の水がお酒になったと言う話をお聞きになり養老に行幸され、自らこの不思議な水を飲浴されると「膚は滑らかになり痛むところを洗ったらすっかり治り、大変めでたい」ということでこの水を『老いを養う若返りの水』と仰せになり、西暦 717 年に年号を「靈龜」から「養老」へ改元されました。

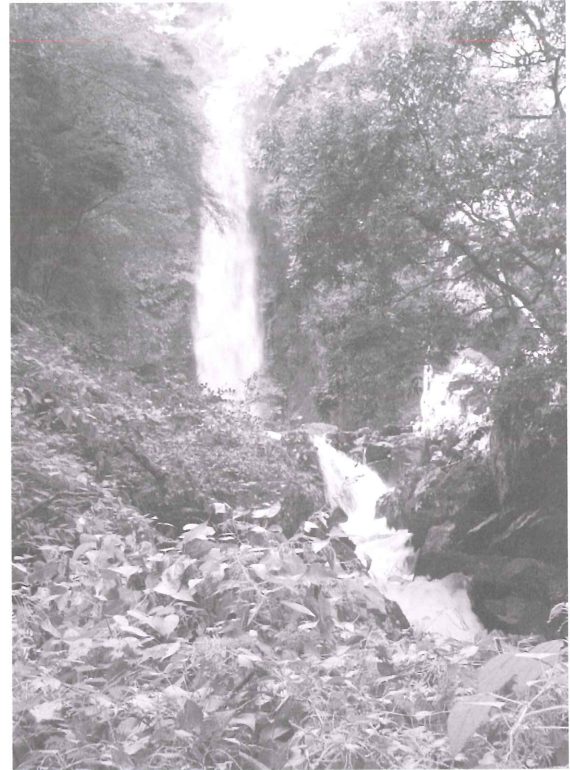
養老山地は、養老－伊勢湾断層を境に西の養老山地は隆起し、東の濃尾平野は沈降を続けております。約 200 万年前は、養老山地は平坦でこの断層運動は約 100 万年前から活動開始し現在も継続中です。活動速度は、年平均 0.5～1 mm と推計されております。

養老山地の東端は、急傾斜の断層崖であり、そこに「養老の滝」・天皇が馬に食事（マグサ）を与えた場所「秣の滝」があります。

今年は、日本列島に台風を含め多くの自然災害をもたらしました。右の写真は、「養老の滝」ですが、上は 9 月中旬西濃地方を約 50 年ぶり「伊勢湾台風」以来と地元が言う雨台風 18 号通過後の滝の様子で、下の写真は、12 月上旬に写した通常の養老の滝です。

養老改元年間と比較して、滝の水量はどうだったのか？「2020 年東京オリンピック」開催時、今年と同じ養老の滝を眺められるのか？南海トラフ地震は、それまでに起こるのか？

「養老の滝」を望みながら、今昔に思いをはせました。皆さんも一度、養老の滝を見にこられ、濃尾平野の形状を再確認されたらどうでしょうか。



養老の滝 9 月中旬台風 18 号通過後



同上 12 月上旬

平成 25 年末会員交流会

広報委員会

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月13日（金）、名古屋市中区栄にある「嘉文」栄本店において、平成25年末会員交流会が開催されました。

当日は、冬型の気圧配置が強まり全国的に寒い一日となりました。この荒れた天候の影響で北陸本線が一部運休となり、富山の宮西副支部長がこられなくなるというハプニングもありましたが、総勢30余名の皆様にご参加いただくことができました。

小野支部長の挨拶そして乾杯の音頭で幕を開けた会員交流会。



写真：乾杯

平成25年は、伊勢神宮ご遷宮、オリンピック招致成功など明るい話題もありました。しかし、依然として放射能汚染に手を焼き、自然災害に悩まされた年でもありました。また尖閣や竹島の問題等々話題に事欠きません。中でも、我々に直結した問題として建設資材・人材不足に加え、建設物価高騰があげられます。

いろいろありましたが、この日ばかりは、そんな悩ましいことも忘れ、美味しいお酒と料理に舌鼓を打ち、和気藹々、楽しいひと時を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。



写真：歓談

女性の参加者が一人もお見えにならなかったのはいささか残念でしたが……。



写真：抽選会

毎年恒例の抽選会も、宴会を盛り上げてくれました。



写真：全員集合

そんなこんなで楽しい時間はあっという間に過ぎるもの。北陸部会長高島さんの中締めで宴の幕は下りました。

平成 26 年 3 月末 CPD 単位登録について

建築コスト管理士皆さんへ、

改定内容の確認と年度による適用取得単位の違いの確認を

当協会の CPD 制度は、資格者の生涯にわたる技術・知識の向上を支援することを基本として運用されています。

ここで、平成 26 年 3 月の建築コスト管理士登録更新に向けて、注意点を記入しておきます。

● 26 年 3 月更新の方へ（建築コスト管理士）

5 年間の必要単位数 =

(平成 23 年 3 月 31 日までの年数 × 50 単位)

+ (平成 24 年 4 月 1 日以降の年数 × 16 単位)

詳しい記入方法は、支部報 57 号（2012 年 8 月発行）及び、59 号（2013 年 8 月発行）を参考にご覧ください

A. 単位は 5 年間で、

旧制度 3 年間 150 単位、

新制度 2 年間 32 単位の 182 単位必要。

B. 研修年月日は下記の年度ごとの登録となります。

C. 新旧両制度とも緩和処置の適用もあります。

旧制度 年間 50 単位

2009 年 4 月 1 日 — 2010 年 3 月 31 日

2010 年 4 月 1 日 — 2011 年 3 月 31 日

2011 年 4 月 1 日 — 2012 年 3 月 31 日

新制度 年間 16 単位

2012 年 4 月 1 日 — 2013 年 3 月 31 日

2013 年 4 月 1 日 — 2014 年 3 月 31 日

D. 登録しやすい内容は下記のとおりです。

● 旧制度・・・年間 50 単位必要

下記で、年間 58 単位以上登録できます。

①. 実務実績の登録 20 単位 / 年間

②. 自己申請

1) 協会会誌「建築と積算」購読 12 単位 / 年

2) 他団体会誌購読 6 単位 / 年

3) 専門図書購読 20 単位 / 年

③現場見学会 上限なし

④「建築と積算」認定記事 12 単位 / 年

平成 21 年度 [9 記事 各々 1 単位]

平成 22 年度 [12 記事 各々 1 単位]

平成 23 年度 [10 記事 各々 1 単位]

⑤講習会等参加 上限なし

積算協会・建築士会・その他特に制約はない。

● 新制度・・・年間 16 単位必要

下記で、年間 26 単位以上登録できます。

①. 自己申請

a. 「建築と積算」認定記事 10 単位 / 年

平成 24 年度 [10 記事 各々 1 単位]

平成 25 年度 [10 記事 各々 1 単位]

b. 他団体会誌 4 記事迄 4 単位 / 年

c. 専門図書購読 6 冊以上 12 単位 / 年

②現場見学会 上限なし

③講習会等参加 上限なし

積算協会・建築士会・その他特に制約はない

④協会ホームページ記載の「建築コスト管理士向け e ラーニング」の受講


● 支部での支援サービスについて

ホームページからの登録・申請がうまくいかない方、参考で記入した項目以外の投入をしたい方、どうすればいいか迷っている方、パソコンが苦手な方、単位が足りない方は、早めに支部宛に、気楽に電話・FAX 等で相談ください。

支部にて、アドバイス・代行入力もあります。

今すぐ登録と単位申請を！

TEL 迷わず支部に連絡を TEL

公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事
支部長 小野 徹郎


事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭とビル2階
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp
URL <http://bsi-th.052e.com/>

|| P S




代表取締役
内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415
IPS E-mail : ips@inh.co.jp
公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 講習会委員
公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 事務所部会長



株式会社 浦野設計
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS

代表取締役社長
浦野 廣高
技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区西八筋町90番地
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712
URL <http://www.urano-s.co.jp/>
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582
再生紙使用



建築・積算・見積
有限公司 エスム積算
(社)日本建築積算協会会員

会長 松岡 重幸

本社 〒503-0944
岐阜県大垣市横曾根4丁目13番地
TEL <0584> 89-2550・FAX <0584> 89-7841
E-mail esumu@sannet.ne.jp
東京事務所 〒105-0014
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階
TEL <03> 3452-7164



えにし
株式会社 縁
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長
古川 元
FURUKAWA GEN
積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-8370-6474
E-mail:g-furukawa@enishi-cm.co.jp
URL:<http://www.enishi-cm.co.jp/>

おかげさまで20周年



えん
株式会社 円建築積算

代表取締役 廣瀬 稔
MINORU HIROSE

一級建築士・建築積算資格者・宅地建物取引主任者

〒452-0805 名古屋市中区市場木町32
ITO BLD 2階
TEL 052(503)0366
FAX 052(503)0663
URL <http://www.ennsekisan.gol.com>



国豊積算株式会社
専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945
URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>

白木建築積算

石田 豊文
Toyofumi Ishida

〒501-3152 岐阜市岩滝西3-72
TEL:058-213-5879
FAX:058-213-5878
E-mail : sks-toyo@coda.ocn.ne.jp



有限会社 高島建築積算事務所

所長 高島義昭
一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2
TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340
携帯電話 090-3293-6920
E-mail:takasima@aqua.ocn.ne.jp

株式会社 研裕建築積算事務所

代表取締役 会長 とき 研 谷 智 彦
代表取締役 社長 研 谷 将 紀

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844

株式会社 中野積算

名古屋支社

支社長 位 田 勝 彦
KATSUHIKO INDEN
建築コスト管理士 公益社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目29-10 錦通KDtビル
支社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960
E-mail: k-inden@nakano-sekisan.co.jp
本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7 TEL 03(3392)6121
支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 林積算

代表取締役 林 進

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階
TEL 052-262-3781
FAX 052-262-3783
E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp

コストエンジニアリング&コンサルタント
株式会社 二葉積算
名古屋支社

取締役支社長
中川 英 人
NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-17-30(河越ビル)
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL http://www.futaba-sekisan.co.jp
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌

—お客様の「苦」を「楽」に変える—

 有限会社
建築 見積センター

うしお だ
代表取締役 潮 田 春 生
(建築積算士)

〒514-0811
三重県津市阿漕町津興280-43
TEL <059> 229-7251
FAX <059> 229-7252
http://www.mitsumori-center.co.jp/
E-mail:info@mitsumori-center.co.jp

株式会社 みどり建築企画

(公社)日本建築積算協会東海北陸支部
副支部長・講習教育委員長・HP委員

代表取締役 藤 井 正 王
FUJII MASAO

名古屋市中区栄一丁目7番25号 サン・ミノビル602
TEL052-231-5822 FAX052-231-5825
〒460-0008 E-mail:midorikk@mediacat.ne.jp




株式会社 棟 MUNE 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫
取締役 和田 浩嗣
取締役 中島 達司
取締役 服部 欽守

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階
TEL : 052-602-9525 (代) FAX : 052-602-9526
E-mail : aamuneco@mvg.biglobe.ne.jp (代)
URL : <http://www.mune-kenchiku.co.jp>



明峰積算事務所

代表 宮西 繁
副所長 篠田 奈々

一般社団法人 日本建築積算事務所協会会員
〒930-0861 富山県富山市有沢新町39番
TEL 076-425-7330 FAX 076-425-7363
E-mail : s.miyanisi.toyama@nifty.com

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 小田 義彦
取締役 渡邊 國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
<http://www.ito-aei.co.jp>

建築積算システム **FKS**
見積書作成システム **KYOEI COMPASS**

リニューアル用積算ソフト **RSS**
長期修繕計画表作成ソフト **KLC**

 **協栄産業株式会社** ソリューション第二事業部 営業部
〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
【TEL】03-3767-2312 【FAX】03-3767-2318
【E-mail】 fks@kyoei.co.jp 【URL】 <http://www.kyoei.co.jp/fks>



代表取締役
末 永 治 生


株式会社 末永製作所
〒501-0606 岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3
TEL.0585(22)0778(代)
TEL.0585(22)5451(直)
FAX.0585(22)2108



TOMOデータサービス株式会社

代表取締役
今 岡 朝 和

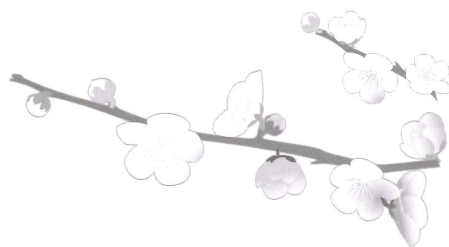
本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル
TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
E-mail : imaoka@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081



株式会社大成出版社
●グループ会社 ●
株式会社 たいせい

代表取締役社長
松 林 久 行

謹賀新年



改訂5版

鉄骨の積算入門

◎著/はまだ かんじ・松本 伊三男

定価 本体5,500円(税別)

鉄骨積算の初心者はもちろん、実務者にも必要不可欠な資料や事例
(モデル建物の計算例と解説)などを掲載!

「建築数量積算基準」の鉄骨について解説し、鉄骨積算用語の解説を新たに掲載!

平成23年版

建築数量積算基準・ 同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所 (公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価 本体4,000円(税別)

改定された「JASS5」と整合性を図り、
積算関係者から寄せられたご意見等を参考に
解説部分の表現の統一、図表等の修正などを加えた最新版です。

平成25年版

公共建築工事 積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価 本体8,286円(税別)

標準単価積算基準の改定、
参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!
公共積算関係者必携の書!

平成25年版

建築工事内訳書 標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所
(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価 本体4,600円(税別)

公共建築工事標準仕様書や
JIS規格等との整合性も見直して解説!

平成24年版

公共建築工事内訳書 標準書式(設備工事編)・ 同解説

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価 本体4,600円(税別)

平成24年3月に改定された「公共建築工事内訳書
標準書式(設備工事編)」との整合性を図り、
記載内容等の見直しを行った最新の解説書!



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

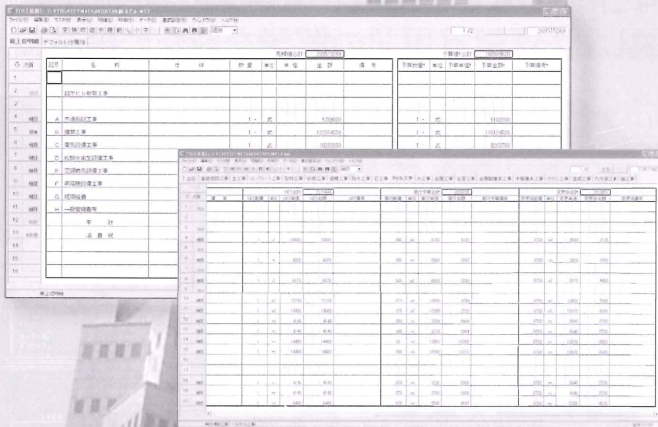
〒154-0042 東京都世田谷区羽根木 1-7-11

積算業務の効率化に貢献する

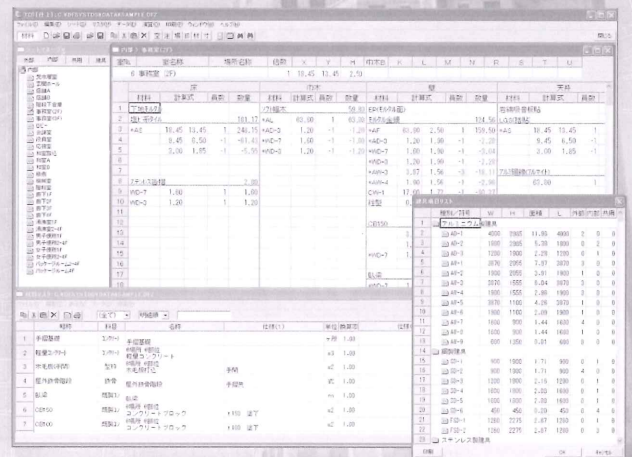
TDS Application Series

出荷本数8000本の実績!明細書作成の超決定版!

Exa
TDS [見積]

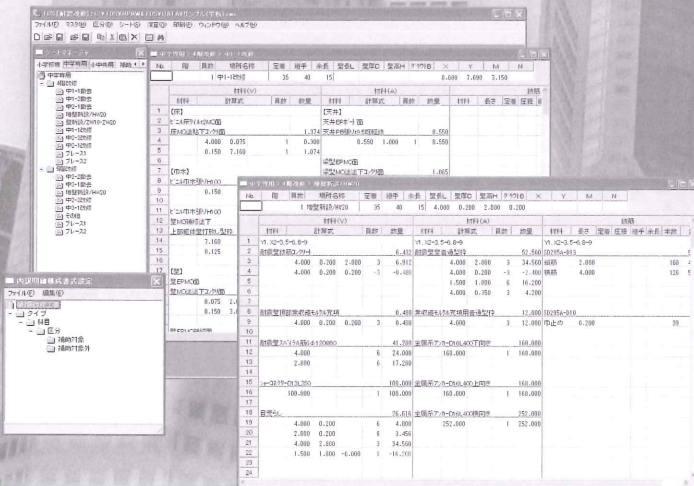


超簡単仕上拾い
TDS [仕上]



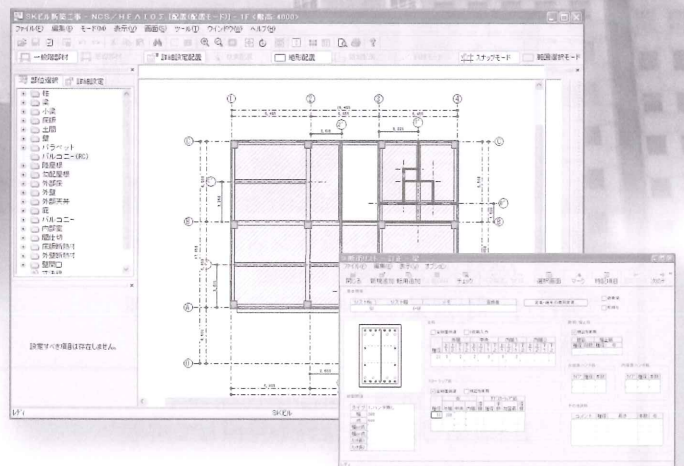
業界初!改修専用の積算システム!

TDS [改修]



どんな建物にも対応

NCS / HEALIOS



※NCS/HEALIOS は株式会社日積サーベイの商品です。



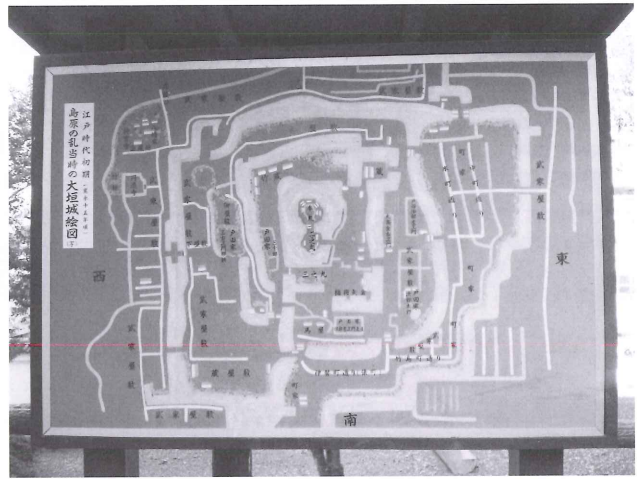
TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail info@tomodata.co.jp

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL (06) 6351-8452 FAX (06) 6351-8925
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL (03) 5816-7080 FAX (03) 5816-7081



大垣城正門



大垣城絵図

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

さて、昨年を振り返ると、伊勢神宮御遷宮、サッカーワールドカップ出場決定、オリンピック東京大会誘致成功等々いくつかの盛り上がりもありました。しかし、夏の猛暑に度重なる台風、各地を襲った豪雨等自然が猛威を振るい、いつ終息するとも知れない放射能汚染にてこずり、政治的にも隣国との領土問題等々、話題に事欠かない年でもありました。

建築業界においても、アベノミクス効果等で景気が上向いた反面、様々な要因から建設資材・技能者不足、建設コスト高騰と、現在もまだ悩ましい状況が続いています。本年4月には消費税増税が控えており、景気の動向も気懸かりです。

本年がどのような年になるのか検討もつきませんが、午年でもあり飛躍の年になるよう願うばかりです。ついでに個人的には、中日ドラゴンズの優勝も祈願して・・・？

それでは、広報委員会一同、本年も支部報の作成に全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご愛読宜しくお願いいたします。

広報委員	堀田 淳二	長山 充裕
	加藤 一也	桑名 利男
	後藤 学	高嶋 義昭
	松本 利治	

支部報 『東海北陸』 No.60

発行 公益社団法人 日本建築積算協会
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2014年2月 吉日

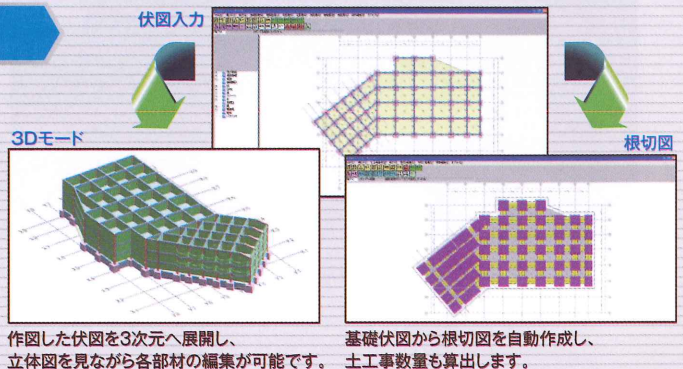
進化し続ける

建築積算・見積システム

FKS RC RC数量積算システム

拾い時間の短縮・省力化を追求しCADとのデータ連携も実現

- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏芯情報は自動補正の機能を搭載
- セットバック(斜め柱)や壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- PC工法、ポイド、機械式継手、定着プレート、カットオフ、スリットなど様々な工法に対応
- 土工事は、総掘、壱掘、地下空間体積も自動で積算、杭工事にも対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込(オプション)

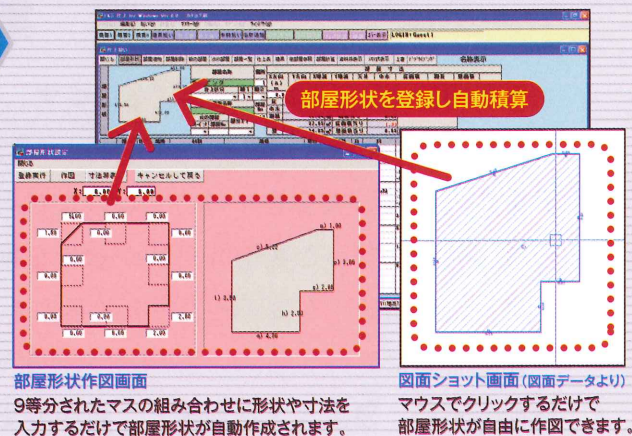


作成した伏図を3次元へ展開し、基礎伏図から根切図を自動作成し、立体図を見ながら各部材の編集が可能です。土工事数量も算出します。

FKS FN 仕上数量積算システム

部屋形状自動作図と図面データ取込機能で積算時間を大幅削減

- 部屋形状作図と図面ショット機能により複雑な形状の部屋でも自動積算を実現
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- BIMツール連携用 中間ファイルの入力機能搭載 (公益社団法人 日本建築積算協会 制定 BS-Transfer)
- CI-NET 建築積算メッセージファイルの入出力機能搭載 (一般財団法人 建設業振興基金 制定) 建築積算の標準交換データ形式に対応



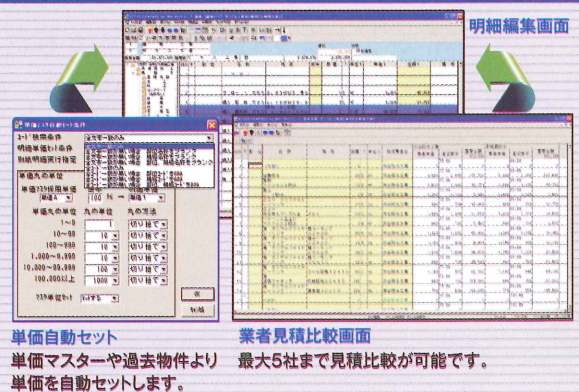
部屋形状作図画面
9等分されたマスの組み合わせに形状や寸法を入力するだけで部屋形状が自動作成されます。

図面ショット画面(図面データより)
マウスでクリックするだけで部屋形状が自由に作図できます。

KYOEI COMPASS 見積書作成システム

優れた操作性と豊富な機能で見積業務が大幅に効率アップ

- 数量、単価、総額固定などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- 名称・規格情報が同じ明細を文字検索し、単価の統一が可能
- 付箋機能により、目印を付けた行をまとめて検索・参照・編集
- ExcelからCOMPASSへ直接コピー・貼付けが可能
- Excelとの入出力機能やRIBCから出力したデータの取込など豊富なデータ互換
- 見積書式の行数や表現、見積鑑の書式位置はユーザーごとに設定が可能



単価自動セット

単価マスターや過去物件より単価を自動セットします。

業者見積比較画面

最大5社まで見積比較が可能です。

協栄産業は、蓄積された経験と技術をもとに、貴社に最適な建築コストアプリケーションを提供いたします。

鉄骨数量積算システム **FKSST**

積算実績比較システム **FKSSJ**

実行予算書作成システム **COMPASS実行予算**

デジタル化入力システム **K/FIT**

積算といえば協栄産業におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS
「積算 FKS」で検索してください

検索

クリック!



エレクトロニクス分野を通して
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社 ソリューション第二事業部 営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

- 【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo co.,Ltd.)
- 【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松涛2-20-4
- 【創立年月日】 1947(昭和22)年10月6日
- 【資本金】 31億6,181万円(2012年3月31日現在)
- 【総従業員数】 1,234名(協栄産業グループ合計)
- 【株式上場】 東京証券取引所市場第1部「商業」
- 【関連団体】 公益社団法人 日本建築積算協会賛助会員
一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員
社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員
一般財団法人 建設業振興基金 (CI-NET会員)
一般社団法人 IAI日本会員